

大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画（第2期）の主要な改正点

1. 構成の変更

特定鳥獣保護管理計画の様式に合わせ、構成を変更した。

2. 第1期計画の評価を追加

第1期計画の実施結果の評価を記載した。

3. 大台ヶ原自然再生推進計画との整合性の確保

第1期計画策定後に作られた大台ヶ原自然再生推進計画との整合性を確保するため、計画の目標などの箇所の文言を整理した。

また、第1期計画では緊急対策地区を A1、A2 の2地区に区分していたが、統合した。

4. 個体数調整の目標の変更

目標とする生息密度は第1期計画と同じ10頭/Km²であるが、計画期間中の早期（2～3年目）までに目標密度まで低減することを目標とした。

5. 森林生態系保全再生計画との関係の整理

植生保全対策について、直接的なシカの影響を排除する目的で行うものを本計画で取り扱うこととし、森林生態系の多様性確保や後継樹の保全の目的で行うものは、別途森林生態系部会で検討の上、実施することにした。